

「今後の廃棄物処理制度の検討に向けた中間とりまとめ（案）」への意見

京都大学大学院工学研究科 教授 高岡 昌輝

本日、欠席となりますことから、事前に拝見させていただき、下記にコメントさせていただきます。

廃棄物処理制度の検討に向けた中間とりまとめについて、不適正ヤード問題、PCB 問題、災害廃棄物対策に関して、主な論点を丁寧に整理していただきありがとうございます。今後、関連省庁や法制局との調整をなされるとお聞きしております。

今後の検討の方向性も示されている所ですが、重ねて申し上げたいのは、有害使用済機器については包括的な物品を対象に、生活環境保全上支障がなく、適正な国内資源循環が確立できるような実効性の高い措置をご検討・ご調整いただきたいと思います。

また、PCB 処理に関しては、検討事項に挙げていただいている点をご検討いただき、高濃度の新たな処理体制、低濃度及び疑い物の管理体制を確立し、POPs 条約で求められている期限以降も持続可能な体制を維持できるようにご検討・ご調整いただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

以上